公の施設の指定管理者における業務状況評価

令和8年7月7日

施設名	香北青少年の家	所管課	教育委員会生涯学習課

1　施設の概要

指定管理者名	(株)香美かほく	指定期間	令和7年4月1日～令和12年3月31日
施設所在地	香美市香北町吉野1300		
業務内容	・施設の利用の許可に関すること ・施設及び設備の維持管理に関すること ・青少年の活動が安全かつ円滑に行われるための支援に関すること ・主催事業を計画し、実施すること ＜令和7年度主催事業＞ ・日帰りだよ！親子忍者大会（全4回）・忍者大会（全2回）・日帰りだよ！親子でピザ職人（全2回）・日帰りだよ！親子で麺職人（全2回）・親子で‼ちびっこ忍ジャー（全2回）・めざせ‼やなせたかし先生・青年リーダー研修（全6回）		
施設内容	青少年教育施設として、「自然とのふれあい体験、共同生活体験及び体験的な学習活動などを通じて心身ともに健全な青少年の育成を図る」という設置目的に基づき運営している。 構造：本館　鉄筋コンクリート2階　延べ1,002.65㎡ 別館　鉄筋コンクリート平屋　延べ295㎡ 研修棟　鉄骨　延べ300.16㎡ 施設概要： 研修室　3室（定員20名,80名,120名） 宿泊室　定員127名 浴室3室 野外炊飯場　3箇所　定員300名 ランニングコース　1コース　1.7km オリエンテーリングコース　1コース　10km ウォークラリーコース　2コース　5km		
職員体制	【R7当初】 職員：所長1名　指導課長1名　指導主任1名　指導員1名　調理課長1名　調理員4名 警備宿直3名　清掃3名　合計15名		

2　収支の状況

（単位：円）

		R06年度（決算）	R07年度（決算）	R08年度（予算）
収入	県支出金	42,670,000	45,278,000	46,739,000
	事業費収入	533,627	522,160	398,000
	収入計（a）	43,203,627	45,800,160	47,137,000
支出	事業費	1,303,711	998,746	1,198,000
	管理運営費	12,345,599	10,397,529	12,389,000
	人件費	26,283,800	30,958,935	29,794,000
	消費税	3,927,582	1,017,958	3,756,000
	支出計（b）	43,860,692	43,373,168	47,137,000
収支差額（a）－（b）		△ 657,065	2,426,992	0

使用料収入	1,658,363	1,576,956	1,588,000

3　利用実績

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	平均
利用者数	4,664	5,381	9,596	11,670	11,940	8,650
利用団体数	80	102	141	156	133	122
宿泊者数	1,343	1,774	3,899	5,038	4,887	3,388
宿泊稼働率	9.8%	12.6%	19.6%	24.7%	26.2%	18.6%

※宿泊稼働率…宿泊利用室数/宿泊可能室数（室数×日数）

4　業務の評価

項目	施設からの状況説明に対する評価・意見
①利用拡大のための取り組み	・新たなイベント企画（新規事業）を考案しながら運営している。 ・新規指定管理者でありながら、利用者数及び宿泊稼働率は上昇している。 ・主催事業において、若い世代のボランティアスタッフを活用し利用拡大が図れている。 ・PR活動も積極的に行い、利用拡大に向けた努力がなされている。 ・青年リーダー研修の案内や主催事業のチラシ配付など、安定的な取組が継続されている。 ・新会社発足から1年、これまでどおりの取組を安定的に実施できている。 ・小学校等の宿泊学習が12月の実施可能なら、利用者数をさらに伸ばすことができる。 ・前任団体から引き継ぎを受けて以降、引き続きの利用者数を増やす取り組みができています。 ・田舎ずし作り教室はとても良い企画です。参加者の反応も良かったようで、今後もぜひ開催をしていただきたいです。それを踏まえながらさらに利用拡大を図るための主催事業として田舎ずしだけでなく新しい事業をぜひ発案して実践をしてください。 ・高知県内の児童や団体に限定しない利用者拡大に向けた情報発信や受け入れのプログラムの開発を進めてみてはいかがでしょうか。冬季や利用者が低下する閑散期の利用拡大を図る目的です。 ・利用団体への熱心な広報活動もあり、前年度より利用者数を増やしている。今後宿泊室の活用方法の検討等一層の利用者確保の取組が求められる。 ・主催事業参加者、学校関係者、地域関係者等属性ごとに適切な広報活動を実施していることは大いに評価される。
②利用者へのサービス向上のための改善策	・利用者対応にも気配りがや細やかな配慮がなされている。 ・アンケート調査や利用者との対話により、利用者ニーズを適格に把握できている。 ・指導者の資質向上や指導力向上に、恒常的に取り組んでいる。 ・安価で安全な食事が提供できるよう、努めている。 ・熱中症対策に十分留意をしてください。また害虫や獣害にも気をつける必要がありますので、危険な状況を想定した訓練や対処する道具などを配備するようにしてください。 ・他施設や機関で実施された指導者研修会に積極的に参加する等、常に指導力向上に取り組んでいることは大いに評価される。 ・運営の難しい給食業務についても、地産地消に努めるなど利用者の安心安全と満足度の向上を達成している。
③施設の運営について	・参加者のニーズに合わせた安定した運営が行われている。 ・宿泊・食事・研修・野外活動等において安全の確保を第一にする理念を基本に、地域との連携も図り、適切な運営がなされている。 ・人員不足を、ボランティアの活用などで、何とか補っていることは工夫に値する。 ・スタッフの勤務状況に懸念があります。適正な労働時間管理や休日取得を関連法令を遵守しながら整備できるように努めてください。 ・スタッフの就労環境向上と設備点検の実施などを目的として毎週や隔週で休館日を設けてみてはいかがでしょうか。 ・施設設備の老朽化に伴い、保守点検を細やかに行い運営に支障がないようよく努力している。 ・業務改善に向けて、県の評価シート等も活用し細やかな目標設定を行い着実に取り組んでいることは評価される。 ・ボランティアとの協働への取り組みも今後の展開が期待され評価される。

④利用実績		・利用者は増加していることは評価できる。 ・利用する学校等の諸事情により、宿泊者数は減少しているが、宿泊稼働率は上昇しており順調と思われる。 ・全県的な児童生徒数減の中、少しづつではあるが利用者数は増えている。一方、利用団体や宿泊者数は伸び悩んでいる傾向があるが、コロナ禍以降、宿泊活用に対するニーズが変化しているのではないかと思う。今後の経営に向けて、さらなる考察と工夫が必要であろう。 ・令和6年度に1万人を超えた利用者人数をそのまま維持することができています。ただ内訳を見ると減少している分野もあり、そこを課題として捉えて利用実績の向上を図ることを実践してください。 ・宿泊者数が伸び悩む中、人気のプログラムを日帰りで展開する等、集客に工夫が見られ、利用者数は令和6年度を上回った。 ・今後は宿泊室の構造上の課題や気温の上昇を踏まえた野外活動の展開等を検討することで、一層の利用者増加に取り組んでいただきたい。
⑤収支の状況		・人件費の増加はあるものの、運営費削減により健全な収支となっている。 ・健全である。 ・収支差額200万円強で残してくださっていますが、この金額で「利用者拡大の取り組み」「施設内の安全設備や訓練の導入」「スタッフの能力向上のための訓練や研修などへの参加」「就労環境向上のための改善」などに投資をしていただきたいです。 ・令和7年度予算に対して人件費は予算を越えた支出となっているが、事業費、管理運営費の支出を抑える等、運営上の努力があり、健全な運営となっている。
総合評価	A	・新規指定管理者ではあるが、地域や諸機関と連携し、また、利用者ニーズを的確に把握し運営に繋げていることは評価できる。 ・起業1年目での運営や取組としては、優れていると思われるが、数値目標の立て方は職員の達成満足度が上がるような、少しの頑張りや工夫でクリアできそうな現実的な目標設定が良いのではないか。 ・暑さ対策や害獣対策にも工夫がみられる（猟友会と協力し、山に猟犬を放つなど） ・前任の団体から引き継いでくださってさまざまな苦労をしながら前進されていることに敬意を表します。みんなでチカラを合わせて頑張っていこう！まずは基本的な形を作り上げていこう！という時期の真っ只中かと思いますが、勢いや気合いで乗り切っていこうとする部分に冷静な目で「スタッフが楽しく働けているか」「香北青少年の家で働くことでスタッフの幸せが実現できているか」という目線で、今取り組んでいることを点検したり、改善したりという判断や行動を期待しています。利用者は満足しているが、スタッフが犠牲になっている、という職場にならないように留意ください。 ・職員の熱意と努力が感じられる運営が為されているとともに、利用者動向、収支状況、安全管理等支障なく運営されており、大いに評価される施設である。 ・今後人口動態の推移や経済状況、施設の老朽化、気候等自然環境の変化など青少年教育施設を取り巻く環境の変化に中長期的な対応が求められることより、設置者である県との連携を一層密にし、これらの課題解決にあたっていただきたい。

【評価の目安】
A：仕様書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの
B：おおむね仕様書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われたもの
C：仕様書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要なもの
D：管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの

※「施設からの状況説明に対する評価・意見」欄には、各施設の品質向上及び利用者拡大に向けて、①から⑤までの項目に沿って、努力成果が見える点や改善が必要だと感じる点、その他特記事項をご記入ください。
　また、他の参考になるような業務改善の取組については、総合評価欄にご記入ください。